

観光業に対するCOVID-19パンデミックのインパクト

モンゴル国家統計局国民経済計算・調査部上級統計学者 ウルジーハンダ・ニヤムスレン
 モンゴル国家統計局国民経済計算・調査部統計学者 ゲレル・バト

要旨

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) のパンデミックは、観光業に未曾有の危機をもたらした。モンゴル国家統計局の統計によると、2019年において、観光業企業は企業数全体の1.3%を占め、前年の成長率は18.2%であり、GDPの0.2%を生み出した。COVID-19の発生により、2019年度末から3500人(主に女性労働者)が失業した。国境閉鎖により、第2四半期に外国人観光客のモンゴル入国が完全に停止し、モンゴルの観光部門は6423億トゥグルグの収入を失った。また、コロナショックは、民間航空、手工芸品、娯楽、ホテル、ケータリング、食品、アルコール、飲料といった産業にも深刻な影響を及ぼした。航空輸送の経済損失は特に大きく、収入は前年同期比で980億トゥグルグ減少し(83.9%減)、188億トゥグルグとなった。ホテル産業の収入は前年同期比で455億トゥグルグ減少し(39.2%減)、705億(39.2%)となった。この状況に対応するために、観光業だけではなく、直接・間接に関連する企業も対象とした支援体制を整え、法律面での改革を進めることが必要不可欠である。

キーワード: パンデミック、観光、労働力、観光関連産業、景気後退

JEL Classification Codes: Z30

1. はじめに

観光業は、「持続可能な開発目標」(SDGs)の達成において、特に雇用創出、地域経済開発、文化財の促進と結びついた目標(8、12、14など)の達成において、重要な役割を果たしている。観光業は過去10年間に最も急速に成長した分野であり、特に女性や若者の雇用創出に直接・間接に貢献している。

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)のパンデミックは、観光業に未曾有の危機をもたらした。OECD(2020)の報告によると、COVID-19により、世界の観光部門の収益は60%減少している。また、封じ込め措置が12月まで続くと、観光部門の成長は80%低下すると予想されている。ILO(2020a)もまた、パンデミックにより世界で3億500万人が失業する可能性があり、そのほとんどは観光部門で発生すると予測している。

本稿では、関連部門を含めモンゴルの観光業に対するCOVID-19封じ込め措置の影響を検討する。この際、事業者登録データベース、労働力サーベイ、ホスピタリティ産業の企業に関する四半期ごとの統計データを参照した。また、モンゴル国境を通過した外国人に関する国境警備総

局のデータも利用している。

2. コロナショック以前の観光部門

2019年において観光部門は世界全体で(直接的・間接的に)3億3000万人の

雇用を創出した。これは、世界の雇用全体の10.3%を占めている。つまり、10人に1人は観光業に従事していることになる。さらに、観光部門の雇用1人につき、約1.5人の追加的な雇用の創出が間接的に誘発されている。ホテル業やレストランといっ

表1 2020年夏の国際定期便運航スケジュール、航空会社、週あたりの運航便数

航空会社	ロシア (モスクワ/イルクーツク/ウラシウ)	韓国 (ソウル/アサン)	中国 (北京/フホト/天津/ハイル フン 州/重慶/香港)	シンガポール (シンガポール)	日本 (東京)	ドイツ (ベルリン)	カザフスタン (ヌルスルタン)	トルコ (イスタンブール)	合計
MIAT モンゴル航空	2	10	21	2	6	4			45
アエロ・モンゴリア	4		7						11
フヌ・エア	2		4						6
エズニス航空			3						3
アエロフロート	7								7
大韓航空		6							6
中国国際航空			17						17
天津航空			1						1
エアアサン		3							3
アジアナ航空		3							3
SCAT 航空							1		1
アンガラ航空	4								4
トルコ航空								4	4
合計	19	22	53	2	6	4	1	4	111

出所: Buyant-Ukhaa International Airport Flight Schedule (2020)

た労働集約的な部門は世界全体で1億4400万人の雇用を生み出している。このうち、4400万人は自営業であり、700万人は雇用主である。大部分の観光企業は、従業員50人未満の中小企業であり、従業員が2～9人の企業が雇用全体の30%を占めている（ILO, 2020b）。

モンゴル国家統計局の統計によると、2019年の観光業企業数は1300社であり、企業総数の1.3%を占めた。また、観光業で7.8千人が雇用された。観光企業の従業員数はその91.6%が1～9人、5.1%は10～19人、2.0%は20～49人、1.4%は50

人以上である。観光部門はGDPの0.2%を生み出しており、付加価値の成長率は18.2%であった。

モンゴルの観光収入の大部分は、外国人観光客向けのサービスによるものであり、観光客の流入はロシア、中国、韓国からのフライトに大きく依存している。モンゴルは、ロシアと中国との間に15のエアゲートがある。また、8カ国16都市との間で62の航空路がある。国際便の週の運航便数を国別に見ると、中国便が全体の47.7%を占めており、それに韓国便の19.8%、ロシア便の17.1%が続く（表1）。

2019年にモンゴルに入国した外国人のうち、5万9.6千人（9.4%）は仕事、勉強、永住のためにモンゴルに入国し、観光目的の旅行者は57万7.3千人（90.6%）であり、前年から4万7.9千人増加した（9.1%増）。モンゴルを訪問した観光客の29.2%は中国人であり、ロシア人は24.6%、韓国人は17.5%、日本人は4.2%、それ以外が24.5%であった（図1）。

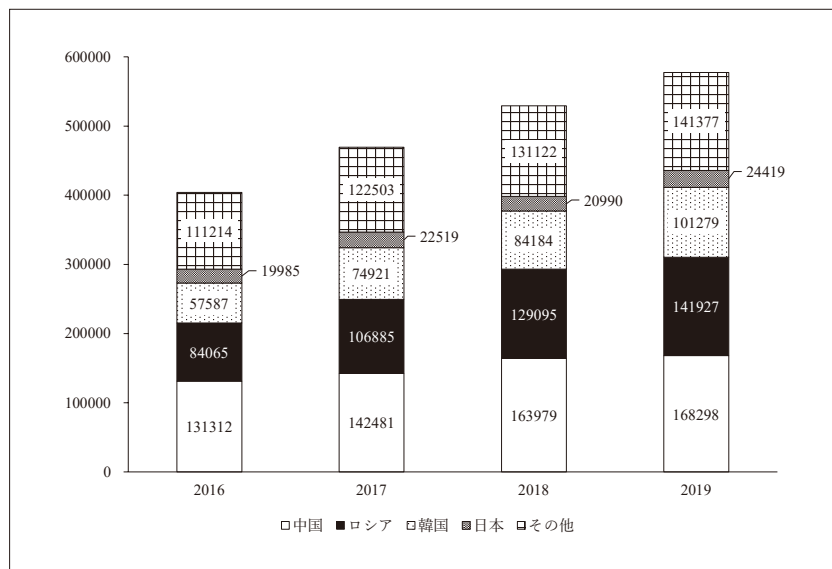
3. 観光部門に対するコロナショックの影響

活動中として登録されているモンゴルの観光企業の中には、活動していない企業や他の分野で活動している企業が含まれている。事業者登録データベースによると、観光部門の企業数は2019年第1四半期において1612社、2020年第1四半期には21.0%減少し1274社となった。また第2四半期に稼働中の企業数は1191社であり、前年同期比で27.0%の減少となり、第1四半期から6.5%減少している（図2）。

2020年第2四半期における観光部門の雇用者数は4.3千人であり、前年同期から33.9%減少し、前年末から44.9%減少している。2020年第2四半期時点で、観光部門の雇用者の64.8%は女性であった。前年同期比で、女性の雇用者数は11.1%減少し、男性の雇用者数は55.1%減少した（図3）。モンゴルの観光部門が前年末から失った3.5千人の雇用のほとんどは男性の雇用であったということになる。

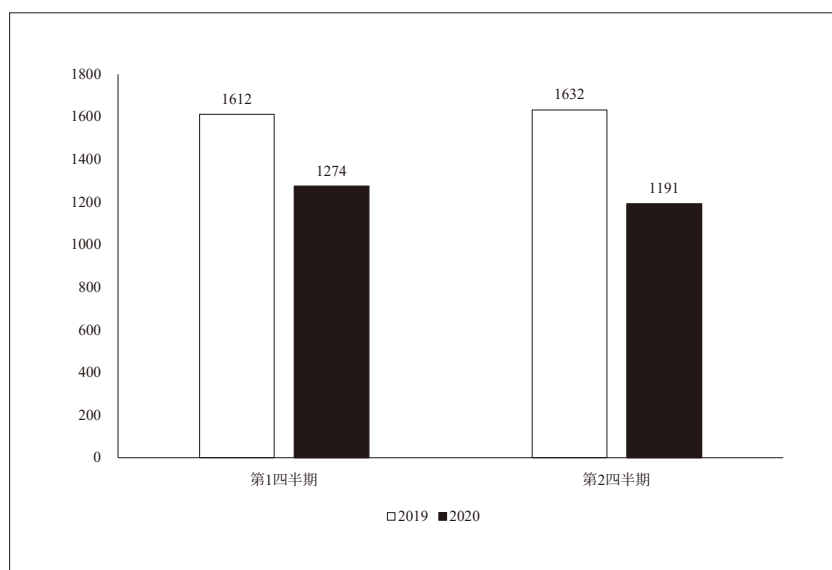
前述の通り、モンゴルは、外国人向け観光サービスが観光収入の大部分を生み出している。最近の状況では、1人の外国人観光客から得られる観光収入は平均で370万トグルグであった（NSO, 2019, December）。2019年上半期において、モンゴルに入国した外国人数は24万7.3千人であり、そのうち21万7.4千人（87.9%）は観光目的の旅行者であった。2020年第1四半期の入国者数は4万1.2千人であり、このうち7.8千人（18.9%）は観光目的の旅行者であった。その後、国境が閉鎖されたため、第2四半期に観光客の入国が完全にストップし、2020年前半において観光目的の入国者数が前年同期比で89.7%減少した（図4）。観光

図1 外国人入国者の国別内訳(人)



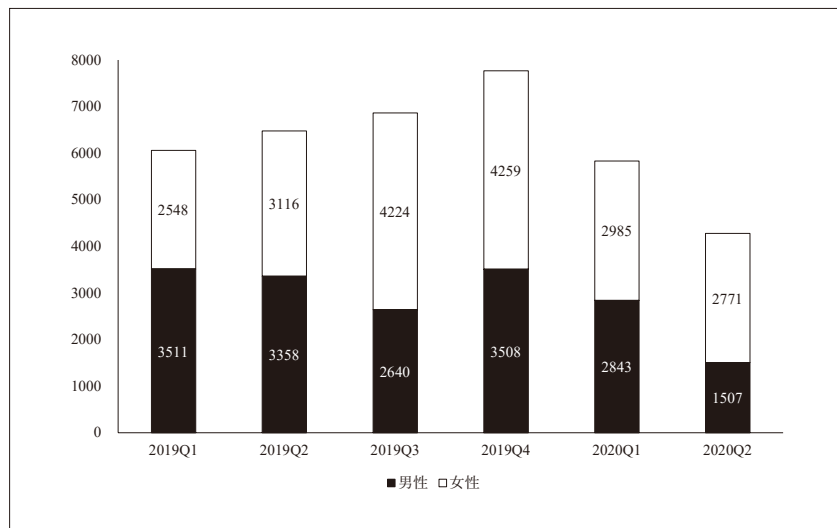
出所：モンゴル国家統計局「モンゴル社会経済情勢月報」2019年12月（NSO, 2019, December）

図2 稼働中の観光企業数



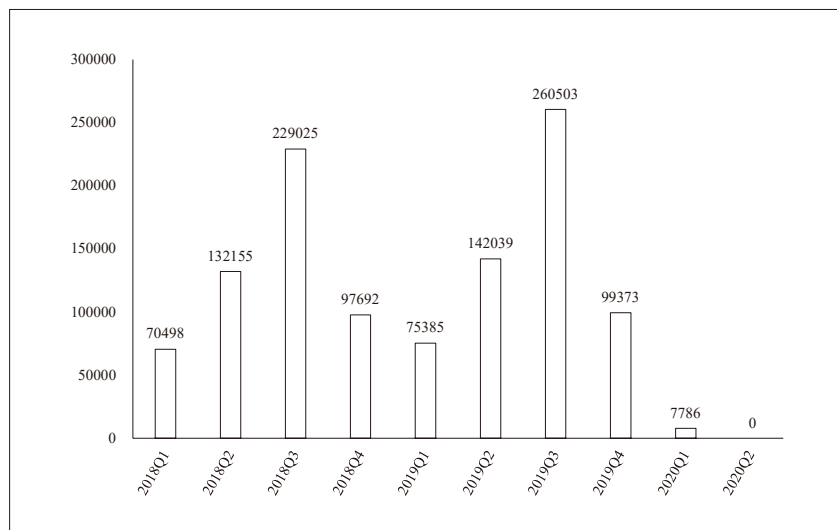
出所：モンゴル国家統計局「モンゴル社会経済情勢月報」2020年7月（NSO, 2020, July）

図3 観光部門の男女別雇用者数(人)



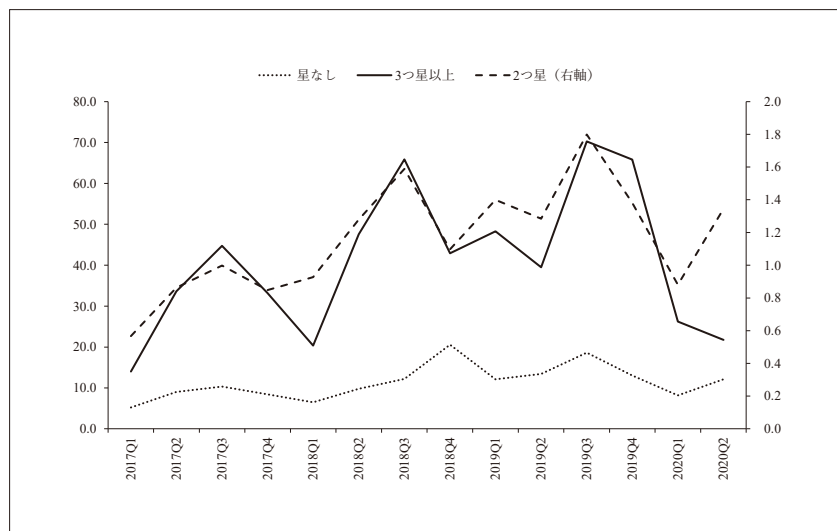
出所: モンゴル国家統計局「労働力調査」、2020年

図4 インバウンド外国人観光客数(人)



出所: モンゴル国家統計局「モンゴル社会経済情勢月報」2020年7月 (NSO, 2020, July)

図5 ランク別におけるホテル部門の収入の推移(10億トゥグルグ)



出所: モンゴル国家統計局「モンゴル社会経済情勢月報」2020年7月 (NSO, 2020, July)

客数の減少により、この期間に、モンゴルの観光部門は6423億トゥグルグの収入を失ったことになる。

モンゴルのように国内観光が発展していない国では、国境閉鎖は、観光部門の停滞に直結するだけではなく、民間航空、手工芸品、娯楽、ホテル、ケータリング、食品、アルコール、飲料といった産業にも深刻な影響を及ぼす。

国境閉鎖と観光客の入国制限により、航空会社は大きな損失を被った。2020年上半期の航空輸送収入は、前年同期比で1387億トゥグルグ減少し(66.2%減)、707億トゥグルグとなった。2020年第2四半期には、さらに状況が悪化し、前年同期比で980億トゥグルグ減少し(83.9%減)、第1四半期から332億トゥグルグ減少し(63.9%減)、188億トゥグルグとなった。

2020年上半期のホテル部門の収入は前年同期比で455億トゥグルグ減少し(39.2%減)、705億(39.2%)となった。2020年第2四半期の収入は前年同期比で190億トゥグルグ減少し(35.0%減)、第1四半期から5890万トゥグルグ減少し(0.2%減)、352億トゥグルグとなった。収入の減少は、主に3つ星以上のホテルの収入が前年同期比で177億トゥグルグ減少し(44.9%減)、前四半期から450億トゥグルグ減少(17.0%減)したことによる(図5)。

ホテル部門の収入の70%以上は、主な顧客を外国人とする3つ星以上のランクのホテルによって生み出された。厳しい気候条件はモンゴルの観光業に季節的な影響を与える。観光業は冬季に停滞し、春から秋にかけて活発になる。しかし、今年は、国境閉鎖とパンデミックにより、観光業の活動が例年通りに活発化することなく、3つ星以上のホテルの収益が減少した。

2020年第1四半期の外食産業の収入は、前年同期比で28億トゥグルグ減少し(2.6%減)、1四半期前と比べて259億トゥグルグ減少し(20.1%減)、1029億トゥグルグとなった。2020年第2四半期の外食産業の収入は、前年同期比で93億トゥグルグ減少し(7.7%減)、1四半期前と比べて84億トゥグルグ増加し(8.2%増)、1113億トゥグルグとなった。

ウランバートル市では、コロナの感染拡大防止のために、2020年2月26日に市長

令 A/223が出され、酒場・ナイトクラブ・ダンスクラブが全面的に一時閉鎖され、飲食店の営業時間が22時まで短縮された。この結果、外食産業の収入は、前四半期比で、レストランが18.2%減、バーは64.9%減、カフェは27.7%減、食堂は26.6%減、食品配送サービスは8.8%減となった。その後、2020年4月30日付の市長令 A/590により、アルコールを提供するレストランやバーの営業時間が午前0時へ延長され、バーの収入は前四半期比で23億500万トゥグルグ減少したが(13.6%減)、レストランは63億トゥグルグ増加し(10.2%増)、食品配送サービスは12億トゥグルグ増加した(4.8%増)。

アルコールを提供する飲食店の営業時間の短縮と娯楽施設・バー・ダンスクラブの閉鎖により、消費税収が減少した。2020年前半では、国産アルコール、ワイン、ビールからの消費税収は、前年同期比で22.1%減少した。

4. パンデミック対策の概要

モンゴル政府は、2020年5月6日に「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の下での経済の活性化と市民の生活支援のための社会保護措置」という政府決定を採択した。その内容には以下のものが含まれている。

- 国内観光の回復と活性化のための組織的な取り組みの実施
- ホテル・キャンプ場・リゾート地・リハビリセンターの安定した営業の維持のための

特別な体制の確立

これらの措置は、モンゴル政府が観光部門の危機的な状況に注目し、その克服に向けた対策をとっていることを示している。しかし、今のところ、関係当局が何を実際に行うのか、この決定を実施するためにどのような行動計画が策定されているのかは明らかではない。

世界各国で観光産業を支援するために実施されている措置には次のようなものがある。

- ポルトガル、ジャマイカ、スペイン、南アフリカでは、借入条件の調整や金利の引き下げにより、中小の観光企業により有利な条件が整備された。
- オーストラリアでは、観光産業の回復と国内観光の促進に向けて幅広い措置が実施されている。
- ポルトガル、バルバドス、シンガポール、チリでは、ロックダウン期間中に、観光業の労働者の訓練とキャパシティビルディングのために、無料または補助金によるeラーニングが行われた。
- マレーシア政府は、今年3月以降、観光業に対して所得税の免除措置をとった。
- ルワンダでは、観光客に旅行予約のキャンセルをせず、追加料金なしで予約を2年間延期するように奨励している。
- ジャマイカ政府は、労働者の雇用を維持する観光産業の小企業に対して月に2回現金を給付している。また、3月10日から6月30日までの間に失業した個人に対しても同様の特典がある。このように、

観光産業では、雇用維持に対しても失業者に対しても支援が行われている。

- イタリアやバハマなどの多くの国では、自営業、臨時労働者、パートタイム労働者、季節労働者に失業給付が支払われている。

5. 結論

国内観光が発展していないモンゴルのような国では、国境閉鎖は観光部門の停滞に直結するだけではなく、民間航空、手工芸品、娯楽、ホテル、ケータリング、食品、アルコール、飲料といった産業にも深刻な影響を及ぼす。

国境閉鎖と観光客の入国制限により、2020年上半において、モンゴルの航空会社の収入は大幅に縮小した。それと同時に、ホテルや外食産業の収入も激減した。観光部門に従事している企業数は、今年度の2四半期連続で減少し、2019年末以降に、観光業では3.5千人が失業した。2020年上半に、観光客数は前年同期比で79.9%減少し、観光産業は6423億トゥグルグ分の収入を失った。

新型コロナウイルス感染拡大がいつまで続くかはわからないが、この状況に対応するために、観光業だけではなく、ホテル、レストラン、芸術、文化団体など観光に直接・間接に関連する企業も対象として、国内観光を支援し、法的環境を改革する政策を策定する必要がある。

[英語原稿をERINAにて翻訳]

<参考資料>

- Buyant-Ukhaa International Airport Flight Schedule (2020). Available: <http://airport.gov.mn/>
- ILO (2020a). *ILO Monitor: COVID-19 and the World of Work*. 3rd Edition. Available: https://www.ilo.org/wcmsp5/groups/public/---dgreports/---dcomm/documents/briefingnote/wcms_743146.pdf
- ILO (2020b). *The impact of COVID-19 on the Tourism Sector*. Available: https://www.ilo.org/wcmsp5/groups/public/---ed_dialogue/---sector/documents/briefingnote/wcms_741468.pdf
- NSO (2019, December). *Socio-economic Situation of Mongolia 2019/12*. Available: https://1212.mn/BookLibraryDownload.ashx?url=Bulletin_2019_12_mn.pdf&ln=Mn
- NSO (2020a). *Number of Active Entities, by Divisions of Economic Activities and Employment Size Class*. Retrieved July 17 from https://www.1212.mn/tables.aspx?TBL_ID=DT_NSO_2600_015V4
- NSO (2020b). *Number of Inbound Tourists, by Country*. Retrieved July 8 from https://www.1212.mn/tables.aspx?TBL_ID=DT_NSO_1800_003V2
- NSO (2020, July). *Socio-economic Situation of Mongolia 2020/7*. Available: https://1212.mn/BookLibraryDownload.ashx?url=Bulletin2020_07_mn.pdf&ln=Mn
- OECD (2020, June 2). *Tourism Policy Responses to the Coronavirus (COVID-19)*. Retrieved from OECD: <https://www.oecd.org/coronavirus/policy-responses/tourism-policy-responses-to-the-coronavirus-covid-19-6466aa20/#boxsection-d1e31>